

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【公開番号】特開 2015-166440 (P2015-166440A)
 【公開日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-059
 【出願番号】特願 2014-219368 (P2014-219368)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

B 3 2 B 5/28 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 5/24 C E Y

C 0 8 J 5/24 C F C

B 3 2 B 5/28 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 2 月 14 日 (2017.2.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のガラス繊維布帛と、前記複数のガラス繊維布帛に含浸された硬化樹脂組成物層とを含む透明シートであって、

前記硬化樹脂組成物層が、硬化性樹脂を含む樹脂組成物の硬化物により形成されており、

前記ガラス繊維布帛を、前記硬化樹脂組成物層の表面から前記ガラス繊維布帛の中央部までの最短距離 L_1 と、前記硬化樹脂組成物層の厚み L_0 とが、以下の式 (I) の関係を充足するように、前記硬化樹脂組成物層の両表面側に少なくとも 1 枚ずつ含み、

前記透明シートの全光線透過率が 80% 以上であり、

前記透明シートのヘーズが 20% 以下である、透明シート。

$2\% < L_1 / L_0 \times 100 < 15\%$ (I)

【請求項 2】

前記ガラス繊維布帛の 1 枚の質量が $10 \sim 120 \text{ g/m}^2$ である、請求項 1 に記載の透明シート。

【請求項 3】

前記透明シートにおいて、前記ガラス繊維布帛と前記硬化樹脂組成物層との合計量中の前記ガラス繊維布帛の合計割合が、 $1 \sim 30$ 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の透明シート。

【請求項 4】

曲げ弾性率が 5 GPa 以上である、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 5】

前記ガラス繊維布帛の屈折率と前記硬化樹脂組成物層の屈折率との差が 0.02 以下であり、かつ、前記ガラス繊維布帛のアップ数と前記硬化樹脂組成物層のアップ数との差が 20 以下である、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 6】

前記硬化性樹脂が、ビニルエステル樹脂、硬化性アクリル樹脂、エポキシ樹脂からなる

群から選択された少なくとも１種を含む、請求項１～５のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 ７】

前記透明シートの厚みが 0 . 1 ～ 2 mm である、請求項 １～６のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 ８】

前記樹脂組成物が、40 ～ 100 質量 % の前記硬化性樹脂を含む、請求項 １～７のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 ９】

前記樹脂組成物が、光硬化性である、請求項 １～８のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 10】

前記硬化樹脂組成物層の上にフィルム層及び / 又はコート層をさらに有する、請求項 1 ～９のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 11】

タッチパネル用である、請求項 １～10のいずれかに記載の透明シート。

【請求項 12】

請求項 １～11のいずれかに記載の透明シートを備えるタッチパネル。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のタッチパネルを備える電子機器。